

演題名	「はなカフェ」でつながる幸せの輪 ～ みんなの笑顔のために ～		
施設名	花川病院	(ふりがな) 発表者(職種)	さの まきこ 佐野 真紀子 (広報事務)
(ふりがな) チーム名	ちーむ TEAM ニコふわ～みんなでお笑顔になり隊～		
分類	③患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの		
取組種別	施策実行型		
改善しようとした 問題課題	はなカフェは2015年8月から地域の方が気軽に立ち寄りくつろげる空間、患者・家族の憩いの場を目的に花川病院1階ロビー、屋外ガーデンで開始していた。月2回開催1回平均90名から100名の参加があり楽しさいっぱいだった。しかしコロナで一変、中止となった。家族面会、差し入れもなく2022年から再開したが、病棟毎ひっそりであった。5類移行を踏まえ楽しさ、ワクワク感あふれるはなカフェにしたいと考えた。		
改善の指標と その目標値	(指 標) 患者アンケートで「よい」が (目標値) 90%以上		
実施した対策	①はなカフェのアピールとして開催日10時に院内放送で周知、さらに部屋持ち看護師、リハスタッフはポスターで患者へアピールする ②はなカフェの準備、実施時のお手伝いにボランティアの受け入れ ③はなカフェの演出として看護、リハ、医師による演奏会、パンや飲み物を提供するトレイを工夫し目で楽しめるようにするとした。 さらに結果を踏まえ④患者が食べたい好きなパンを調査するパン総選挙の実施を追加した		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) 未実施 (実施後) 患者へはなカフェ参加後によい、よくないアンケートを実施し、97.5%がよいと回答した。 ・フリートークでも患者さんから本物のカフェみたいだった、すごい素敵なカフェでした、良い気分転換などボランティアさんよりとてもやりがいを感じる、患者さんとの交流もできて毎回楽しいなど ・追加対策 パン総選挙では1位アンドーナツ 2位メロンパン 3位クリームドーナツ		
歯止めと 標準化	【標準化】はなカフェの運営マニュアルを作成する 【教育】はなカフェの運営のために地域ボランティアを募集し指導する 【管理】はなカフェ時のコンサート参加者を受け付ける。また患者満足度向上のために3か月に1回パン総選挙を実施する		
活動の種類 ※複数選択可	④組織全体で取り組んだ活動 ②複数の職場が連携した活動 ③テーマに合わせて形成したチーム活動	チーム メンバー (職種)	1 金子 宏美 社会福祉士 2 佐野 真紀子 広報事務 3 形川 久美子 看護師 4 皆川 みゆき 介護福祉士 5 後藤 直美 管理栄養士 6 木戸 紗希子 作業療法士 7 加藤 達也 医師 8 松田 洋子 看護師
活動の場 ※複数選択可	②支援部門		
活動期間	2024年1月 ～ 2024年6月		
リーダー名 (職種)	金子 宏美 (社会福祉士)		
活動回数	5 回		

【テーマ選定・背景】

はなカフェは2015年8月から①地域の方が気軽に立ち寄りつろげる空間②毎月好評の「喫茶」の活性化③患者・家族の憩いの場を目的に花川病院1階ロビー、屋外ガーデンで開始しました。運営は地域連携相談センターが担い、パンとコーヒーは地元のお店から、ボランティア、地元の高中生、職業体験の中学生などお手伝いしていただき地域活性化に寄与しました。

月2回開催、1回平均90名から100名の参加があり楽しさいっぱいでした。ところがコロナ禍で一変、家族面会禁止、差し入れもできず、孤食となり患者さんは何の楽しみもなくなりました。

そこで2021年4月から2回/月再開しました。再開しましたが、感染対策で病棟毎、ひっそりでした。

今回、コロナも5類移行となり、もう少しはなカフェをワクワク感、笑顔あれるように活性化したいと考えました。



【目標設定】

何を	はなカフェに参加する患者さん投票で「よい」が
いつまでに	2024年6月12日までに
どうする	90%以上となる

※根拠:提供するパンなど嗜好の問題もあるため100%とはならないが、カフェに参加することでその雰囲気も含めて「よい」評価が90%が妥当と考えた

※摂食嚥下の方は、ゼリー・やわらかおかきとした

【対策の立案と実施】

	実施項目	誰が	いつ	どこ	なぜ	どのように
①	はなカフェ当日のアピール	金子センター長	2024年1月～	病棟	本日は、はなカフェがあることを予め患者さん、スタッフへ周知し待ち遠しい、ワクワク感を持てるように	開催日10時に院内一斉放送で患者さん、職員へ周知
		松田師長	2024年4月～			開催日朝一番に看護師、リハスタッフははなカフェのポスターで本日開催のアピールをする
②	地域との連携	金子センター長	2024年1月～	社協	はなカフェの準備、実施時のためにお手伝い、患者さんとの交流	ボランティアの募集、受け入れをする
③	はなカフェの演出	佐野	2024年4月～	病棟	はなカフェを患者さん、職員みんなで楽しむために	看護師・介護福祉士、医師による演奏会を放映する
		佐野	2024年4月～	病棟	はなカフェが非日常的、ワクワク感があふれるように	テーブル、トレイの工夫、目で見て楽しめるように視覚への工夫をする

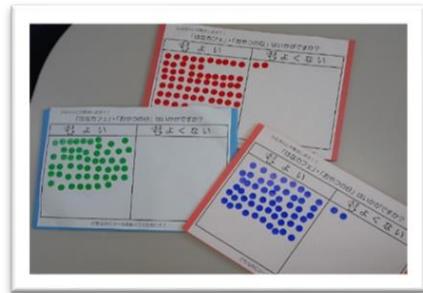
【対策の実施①②③】



【当日の風景】



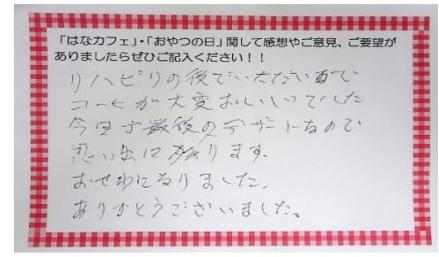
【効果の確認】
有形効果



はなカフェに参加して「よい」 97.5%



【無形効果】フリートークから



ボランティアさん
とてもやりがいを感じる。患者
さんとの交流もできて毎回楽し
い

- 患者さん
 - ・本物のカフェみたいだった・すごい素敵なカフェでした。
 - ・水曜日を楽しみにしています。他の病院に入院した事がありましたが、このようなサービスはなく、とても嬉しく思っています。
 - ・良い気分転換だった。こういうのがあるから退屈しない。
- ご家族より
 - ・今日洗濯をするのに通りがかりましたら、「はなカフェ」「おやつの日」「コンサート」に参加する事ができました。大変心がなごみました。拍手したり楽しんでいる姿に感動しました。毎日ご多忙の中本当にありがとうございます。今後もお聞かせくださいね。
- 演奏を行ったスタッフ
 - ・練習や編集は大変だったが、楽しかった。
- 地域連携相談センター
 - ・患者さんのアンケートで、とても喜んでもらい、うれしかった。

【対策の追加】 よくない回答4名は好みのパンでなかったとの意見から対策を追加した

実施項目	誰が	いつ	どこ
パン総選挙	佐野	2024年6月	病棟
なぜ	どのように		
患者さんが自分の食べたいパンを選べるように	各病棟で患者さんに食べたいパン好きなパンのランキング調査を実施する		



【はなカフェと3つの幸せホルモン】



はなカフェを準備するスタッフ、地域のボランティアの方、当日演奏した医師やスタッフバンド、対応するセラピスト、看護職員、そして患者さんのすべてが、楽しさいっぱい、笑顔いっぱい、ワクワク感いっぱい、しあわせの輪でつながった



喜び・楽しみ・やる気を与える物質
幸せホルモンいっぱい

【標準化と管理の定着】

	何を	なぜ	誰が	いつ	どこで	どうする
標準化	はなカフェ運営	患者満足度向上、患者の笑顔のために	地域連携相談センター	9月	連携室	はなカフェ運営マニュアルを作成する
教育	はなカフェの準備、開催のために	誰もが安全に運営できるように	地域連携相談センター	新規ボランティア採用時	1階・病棟	ボランティア指導をする
管理	はなカフェの演出	コンサート放映のために	地域連携相談センター	随時	病院全体	参加者を受け付ける
		患者満足度と主体性尊重のために	地域連携相談センター	1回/3ヶ月	病棟	パン総選挙を実施

【今後の展望】

- ・入院生活の中で「楽しい・美味しい・特別な時間」となるひと時にしたい。
- ・地域とのつながりを大切に「憩いの場」となるようにしていきたい。
- ・感染対策を取りながら、コロナ禍以前のように退院した患者さんや地域の方との交流を復活させたい。
- ・地産地消、地域の商店などと協力し地域活性化を図りたい。